

望岳荘だより

平成27年

3月9日

今年の冬は、早い時期からまとまった積雪があり、平成十八年以来、九年ぶりの豪雪となりました。毎日のあいさつでも、「良く降るね」とか「もう雪はたくさんだ」という声が多く聞かれました。

三月に入り、南の地方からは、梅や桜の開花の便りの届く頃となりました。

豪雪地の当地方でも、春の暖かな日差しを受けて雪の量が大幅減り、雪の消えたところからは福寿草の花が咲き、ふきのとうが顔を出し、本格的な春が近いことを感じさせられます。



二月誕生会を開催しました

二月に誕生日を迎えられた方の誕生会を、二月二十五日に開催しました。

今月の誕生者は十一名と大勢いらっしゃいました。

食堂で皆さんにご紹介し、ハッピー・バースデーの歌を歌い、赤飯やケーキでお祝いをしました。

これからも皆さん、ご健康でお元気にお過ごしいただきたいと思えます。



記念写真とお祝いのメッセージが書かれたカード、花束を贈られた2月生まれの皆さん。

ひな祭りを行いました

望岳荘にも、おひな様や昔からの土びなが飾

られ、三月三日に五節句の一つ「ひな祭り」を行いました。

望岳荘のひな祭りは、施設開設（昭和四十八年十二月一日）の翌年からずっと行われていました。

ひな祭りは地方によって三月に行うところと、四月に行うところがありますが、当地方では三月に行います。

ひな祭りは、よく「桃の節句」と言われますが、これは旧暦で行うと四月になり、丁度桃の花の咲く季節にあたるためだそうです。

ひな祭りは、平安時代に貴族の遊びとして始まり、江戸時代に全国に広まった女の子の健やかな成長を祈る節句です。

飾られたおひなさんを見られた利用者の皆さんからは、「きれい」とか「立派」という声が聞かれ、昔を懐かしく思われていました。

この日のお昼はちらし寿司が用意され、午後のひな祭りでは、みんなで「うれしいひな祭り」や「春よ来い」の歌を歌い、甘酒やひなあられを食べしてお祝いしました。



今日は楽しいひな祭り。



土人形も多くあり立派です。

日常生活を送る機能の回復、減退防止のために



理学療法士によるリハビリ指導。



ボール突きは楽しいです。

三月の喫茶 「やしようま」を食べました

三月の喫茶は、ひな祭りのお茶会を兼ねて行い、郷土食の「やしようま」を食べました。

「やしようま」は、お釈迦様が亡くなった日、涅槃会（ねはんえ）に食べる米粉を使った餅のごとで、長野県のほぼ全域で作られるそうです。 「やしようま」の由来はいろいろな説がありますが、一説によるとお釈迦様が亡くなる直前、ヤシヨという弟子が米粉で作った団子を進めたところ、おいしそうに召し上がり、「ヤシヨ、ウマかったぞよ」と言って息を引き取ったことから「やしようま」と呼び、お釈迦様の命日の涅槃会に作って仏様に供えることになったそうです。

利用者の皆さんも「やしようま」を自分で作られたころを思い出しては、「おいしい」「なつかしい」と笑顔で食べておられました。



焼きたてのやしようまは、とても美味しかったです。

行事のお知らせ 【三月中旬～四月】

- 三月
- 十六日 理髪奉仕（美容）（午前）
- 〃 フラワーアレンジメント（午後）
- 十七日 リハビリ指導（午後）
- 十八日 誕生会（お昼）
- 〃 バイキング食（お昼）
- 二十日 書道・俳句（午後）
- 二十三日 彼岸供養（午後）
- 二十四日 選択食（お昼）
- 二十六日 音楽（午後）
- 四月
- 二日 選択食（お昼）
- 六日 理髪奉仕（理容）（午前）

- 七日 手工芸（午後）
- 八日 リハビリ指導（午後）
- 十三日 喫茶（午後）
- 十七日 書道・俳句（午後）
- 二十日 理髪奉仕（美容）（午前）
- 二十二日 誕生会（お昼）
- 二十七日 音楽（午後）
- 二十八日 選択食（お昼）
- 〃 フラワーアレンジメント（午後）

お知らせ

☆利用料の引き落としについて

二月份利用料の引き落としを、三月二十日（金）に予定しています。通帳の残高をご確認いただき、ご入金をお願いいたします。

☆面会について

今年の冬も、県下全域にインフルエンザ警報が発令されるなど、感染症が流行りましたが、当荘においては利用者でインフルエンザやノロウイルスに罹った方はいなく、一部風邪をひかれた方がおりましたが、昨年ほど流行しなく良かったと思います。

これも、ご家族の皆様のご理解とご協力のおかげであり、感謝を申し上げます。

感染症の流行しやすい時期も間もなく終わりますので、昨年の十一月から皆様にお願ひしてきました、感染症予防のための面会場所の制限やマスクの着用につきましましては、三月末日をもって解除させていただきます。

なお、万が一、当施設で感染症が発生するなど、状況が変わりましたらお知らせしますので、よろしくお願ひします。

☆来荘時の駐車場について

お車でご来荘いただいた際の駐車場は、玄関左側の駐車場（同駐車場が空いていないときは、施設下の駐車場）をご利用ください。